#### 研究成果報告書 科学研究費助成事業

今和 2 年 6 月 6 日現在

機関番号: 12603

研究種目: 基盤研究(B)(一般)

研究期間: 2016~2019 課題番号: 16H03410

研究課題名(和文)南アジア多言語社会における複合文化のなかの文学伝承

研究課題名(英文)Literary Traditions in the Multiculture of South Asian Multilingual Society

#### 研究代表者

水野 善文 (Mizuno, Yoshifumi)

東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・教授

研究者番号:80200020

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 12.600.000円

が共通して保持する潜在意識の一端を垣間見ることができたのである。

研究成果の学術的意義や社会的意義 南アジアの中心をなすインドの文化には仏教伝来以来、わが日本文化も測り知れない恩恵を受けてきている が、インドは将来有望な経済市場として世界的に注目されるなか、わが国との経済交流も一層深まっている。友 好・円滑なビジネスのためにも相互理解が不可ななし、このと社会に終まます。である。 神ともども尊重しあうことが肝要であろう。本研究は、この点社会に資するものである。 \_また、世界の多言語状況を呈する他の地域の文化研究にも、方法論上、裨益するところ大きいのではないかと

思われる。

研究成果の概要(英文): In the South Asian region, the shaping of a chaotic multiculture has been nurtured over time within the context of a multilingual society. We thoroughly investigated 研究成果の概要(英文): many literary works written in various languages in South Asia from ancient to modern times, and clarified their common underlying sensibility.

Six topics, in particular, had been selected in our previous research: "Rama stories", Songs of Twelve Months", "Literature on historical events", "Films and Literature", Story-telling", "Rhetoric". Through our cooperative research on these topics, some parts of the collective unconscious of the South Asian people could emerge.

研究分野: 古典サンスクリット文学と中世ヒンディー文学

キーワード: ラーマ物語 十二ヶ月諷詠 歴史的事象をめぐる文学 映画と文学 語り 美的表現方法

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。

#### 1.研究開始当初の背景

我が国のインド研究は、近代学問導入以降、文献学的手法によってインド哲学・仏教学の分野で着実に積み上げられてきたが、それは主にサンスクリット語というインド古代の言語を扱うのみであった。辻直四郎著『サンスクリット文学史』(岩波書店、1973)の輩出も、そうしたインド古典学の成果であった。近代インド・アーリヤ諸語やインド南部のタミル語を初めとするドラヴィダ諸語を媒介とする歴史・社会研究は、1900年代早々には着手されていたものの、本格化したのは 20世紀の後半になってからである。田中於菟弥・坂田貞二著『インドの文学』(ピタカ、1978)では、サンスクリットのみならず、ヒンディー、ウルドゥー、ベンガルの文学が詳しく紹介されるに至ったが、そのほかにも存在する数多の言語による文学の紹介は手付かずの状態だった。

最近 20 年ほどの間に、いわゆる地域研究が進展する流れのなかで、歴史学や文化人類学などの分野でインドの諸地方を研究対象とする研究者が次々と登場し、そのなかにはそれぞれの現地語を修めて研究の道具とする者たちも現れた。南アジアの各地域を網羅するだけの研究者が結集できる状況になり、多言語に跨る題材を共同して研究する素地が整ったのである。

多言語社会インドの文学を網羅する『インド文学史』を目指して、本研究代表者は最初の共同研究を組織した。基盤研究(A)「多言語社会における文学の歴史的展開と現在:インド文学を事例として」(平成17~19年度)では、研究分担者14名のほか、多くの研究協力者が参画し、総勢30名以上の体制で、研究会での議論、および学会(日本南アジア学会、国際帰依信仰文学会)でのパネル設営や研究報告を繰り返した。とりわけ、様々なディシプリンの研究者から構成される日本南アジア学会にたいしては、会員約550名全員に成果報告書(A4版、195ページ)を郵送配布して、文学・文芸が地域研究の不可欠なアイテムであることをアピールした。

その成果を踏まえて、さらなる深化をはかって開始したのが基盤研究 (A)「多言語重層構造をなすインド文学史の先端的分析法と新記述」(平成 21~25 年度)である。この研究では、言語体系の異なる文化圏が、文学作品の伝承、伝播によって繋がれている様態を観察することに一層傾注してきた。その予備的な共同作業として、我々と同様の問題意識のもとインドの古代から現代までの諸々の言語による文学を、それぞれの専門研究者が共同し受容の側面から文化史として描いた Pollock, Sheldon ed., Literary Culture in History: Reconstructions from South Asia (Berkeley; Univ. of California Press, 2003)に所収の各論考を、我々のグループの各言語を扱う 16 名が批評を加え、日本南アジア学会の英文雑誌 International Journal of South Asian Studies の第5号(2012年刊)に"How should we describe the South Asian History of Literary Cultures? Dialogues with the Essays collected in Literary Cultures in History: Reconstructions from South Asia, edited by Sheldon Pollock" (pp. 43-72) と題して投稿した。

こうした共同作業や研究会での意見交換をとおして、言語横断的な視点から扱うことに有効な、具体的な題材が浮かび上がってきた。すなわち、1)ラーマ物語、2)十二ヶ月 諷詠、3)歴史的事象をめぐる文学、4)映画と文学、5)語り、6)美的表現方法、の 六つのトピックである。これらに焦点を当て、言語の時空両間を縦横に展開する様を追う ことにしたのである。

#### 2.研究の目的

インドを中心とする南アジア地域は、時代をとおして多様な言語状況を呈している。地域的な差異のみならず、社会的階層間にも差異がみられた。古典期にはサンスクリット語による宮廷文学が展開した一方で、日常語に近いプラークリット諸語(原始仏典が依拠したパーリ語もそのひとつ)による膨大な文献群が存在する。また、中世後期以降は諸地方語によっても数多の文芸が創作された。そのなかには、イスラーム王朝のもとリングア・フランカの役割を果た

したペルシア語による作品も含まれる。それらの文学・文芸には使用言語が異なれども時間・空間ともに通底するテーマ・作風が見いだされる。本研究は、文学・文芸が言語の差異を超えて愛好され伝承される様態を具に観察することによって、テクストとテクストの空隙に存在したはずの人間たちの文化的営為を読み解き、多様な文化様相の底流にあって、それらを繋ぎ合わせる南アジア精神の命脈を描きだすことを目的とした。

#### 3.研究の方法

以下の諸点につき題材を共同で精査し、言語横断的な文学・文芸の動態を明らかにする方法をとった。

#### (1)ラーマ物語

ヴァールミーキに帰せられるサンスクリット叙事詩『ラーマーヤナ』は、そのテクスト成立過程も詳細に明らかにされつつある(J. Brockington, *Righteous Rāma*, Oxford Univ. Press, 1985,および J. and M. Brockington tr., *Rāma the Steadfast: an early form of Rāmāyaṇa*, London, 2006)が、娯楽や教訓として重宝されたり宗教儀礼において読誦されたのみならず、文法・韻律の教材としても利用された。そして、インド国内に留まらず広くアジア諸国に言語を超えて移植された結果、無数といってもよいほどのバージョンが存在する。諸言語による各バージョンの 1シーンを比較するなどして、それぞれのテクストの特徴を明らかにしつつ「ラーマ物語」伝承史をより鮮明に描き、同じ題材が違う時代・地域・環境のなかでどのように変容したのか考察する。

#### (2)十二ヶ月諷詠

サンスクリット詩人カーリダーサ(4-5 世紀)の抒情詩篇『雲の使者』と共通の起源から発したと目される恋愛抒情詩は、とりわけ民間において、季節の風物詩を織り込みながら出稼ぎ中の夫を恋い慕う妻の情感を詠む『十二ヶ月諷詠』として非常にポピュラーな形式となった。形態的には北インドの諸言語圏にみられるが、同趣旨の作品は南部のドラヴィダ諸語圏にも存在する。母音連続の多いプラークリット諸語(俗語)のほうが、掛詞が作りやすく、短句で表現される抒情詩には適っていることから、この形式による抒情詩のオリジンは巷間にあるとする見解があるが、それを実証するとともに、民衆文芸史のひとつとして描き出す。

#### (3)歴史的事象をめぐる文学

例えばインド・パキスタン分離独立や 1992 年のアヨーディヤ事件はヒンドゥーとムスリムの対立構造で語られがちだが、当事者ではなかった人々の言説はいかなるものであったのか、つまり言語を異にする他の地方、とりわけ南インドの文人などはどのように描いたかを探る。文学をとおしてそれぞれの文化圏の人々の歴史的な身の置き場所がどこにあったのか再考する。

### (4)映画と文学

近現代の文学作品からだけではなく二大叙事詩やプラーナ神話などのヒンドゥー古典からもテーマが提供されているインド最大の娯楽、映画は、創作技法につき古典サンスクリット文学のなかで育まれた芸術論・戯曲論の延長線上に位置づけることができる。伝統的な文学作品が、おなじく伝統的な文学理論を礎に、きわめて大衆的なメディアである映画によってどのように表象されるのか観察し、文学がどういった装置によって受容されてきたかを整理する。

#### (5)語り

ヴェーダの儀礼的語り、プラーナの寺院における朗誦、王統記の戦場における獅子吼、身 近な説話の巷間における「絵解き」というエンターテイメントなど、様々な様式の「語り」 を時代・地域・言語・社会的効果といった視点から整理して、全体の関係性を解明し、文学・ 文芸を伝承する媒体の諸様相を解きほぐす。さらに、近代に至って媒体となった印刷の技術 向上にともなう文学の変容と普及についても調査を進め明らかにする。

## (6)美的表現方法

古典の時代から如何に美しく表現するかが文学の肝要であったインドにあって、たとえば

比喩表現などの修辞法は、言語が異なれども古典サンスクリットで確立された理論を踏襲している。音楽・演劇も含めて実例に基づきつつ、受容効果をねらうノウハウの汎用性を解明する。

#### 4. 研究成果

#### (1) ラーマ物語

研究協力者・手嶋英貴は、ヴァールミーキ版『ラーマーヤナ』の第7巻を構成するラーマ物語後日談のなかの「クシャ・ラヴァ物語」に着目し、16-18世紀成立とされるものに至るラーマ物語の、サンスクリット語の諸版のみならずプラークリット語バージョン、さらには東南アジアの諸言語へ移植された作品をも射程にいれて精査し、文化史の潮流にのって発展する過程を明らかにした。ヴェーダ儀礼の様相に倣う形で設定された主人公たちの「吟唱詩人」像から、次第に「英雄戦士」としての性格を色濃く帯びるようになる。更に近代にいたると多様に創作されて来た複数のエピソードを統合する作品が編まれ、その型式のものが東南アジアに伝承されていた。

また、ラーマ兄弟の結婚式に先立って催行された「ゴーダーナ儀礼」は、ヴェーダ祭式で規定された「初髭剃り式」としてサンスクリット語諸版のラーマ物語では語り続けられたものの、12世頃北インドで「三途の川の渡り賃」を含意するゴーダーナ儀礼が一般化すると、中世後期ヒンディー・アワディー方言によるラーマ物語のなかでは、ゴーダーナと言う用語の使用を避けざるを得なかった点にも、変遷する文化のなかで存在する作品の価値が感得できた。

さらに、「夢占い」など、同一のシーンがヴァージョンによって内容を異にするのは、その文化事象のポピュラリティーが高いゆえに時代相応に描かれていることを確認した。

#### (2)十二ヶ月諷詠

季節の風物詩が織り込まれる情緒は本邦の和歌の世界とも相通じ、我々も共感を催される詩世界であったが、王宮サロン等で楽しまれたサンスクリット美文学において「使者文学」という一つのジャンルを形成した民間側の粗地となったと思われる「出稼ぎ社会」の、当事者たちの生の声で語られるのが、この「十二ヶ月諷詠」であった。研究協力者・臼田雅之がベンガル地方におけるこの型式の詩作品を丹念に調査し、民謡、中世末から近世に創作された民間信仰神を讃える吉祥詩(モンゴル・カッポ) 恋愛長編物語を盛る東ベンガル物語詩、さらにはヴィシュヌ派宗教歌謡と、多様なジャンルに渡って、この型式が採用されていることが実証された。「出稼ぎ」という生活のなかから湧き出る男女の感情を有りのままに表現していたものが一つの型式となったがゆえに、記録されずに消えていった数多の諷詠の氷山の一角ではあるが、言語や文芸ジャンルの違いを超えて残された事情が窺われた。

#### (3)歴史的事象をめぐる文学

複数の歴史事象をとりあげてインド諸言語による文学的言説を多角的に照合する予定であったが、結果的に印パ分離独立をテーマとするものに集中したのは、この出来事がそれ程までに強く彼らの心象として刻まれたからだろう。この時期、火中にいたパンジャービー語作家たちの表現がまさに当事者の視線からみた情景であり、感慨であり、心の叫びであったことが検証された。また、地域的には隔たった南インドなどの地域においてそれぞれの言語で著された文学においては、「独立」という民族意識をいやが上にも鼓舞される環境を共有し、多様な表現ながら、同一の精神に立脚したものであることが確認できた。

受容を意識してのことと思われる英語作品の創作や、小説という型式の採用など、言語・文学手法の面で、英国文化の影響を甘んじて受け入れたところに忸怩たるものがあったのではないかと、第三者的には感じてしまうが、自らの精神・文化を吐露する手段として最良の選択をしたと看做しえよう。

#### (4)映画と文学

インド国内のみならず本邦においても近年ロードショー公開されて人気を博している映画に関してだけ見ても、使用言語は、ヒンディー語、ベンガル語、タミル語、テルグ語等々、多岐にわたり、製作地の多様性がうかがえる。ご多分に漏れず、著名な作家の文学作品が映画化されたものが存在する一方で、二大叙事詩やヒンドゥー聖典群であるプラーナ文献所収の各種神話など、いわば古典文学を翻案した映画が多いところにインドの特色が出ている。タイトルだけから察知できないのは勿論、全編鑑賞しても翻案元が判然としない作品も創作されているが、詳細なモチーフ分析を施すことで、制作者の意図に合致する形であるかどうかはともかくとして、翻案元を浮かび上がらせることが出来た。それらは、美的脚色面でのノウハウに生かされ続けている古典的芸術鑑賞論であるラサ理論(人間であれば誰もがもっている感情を九つに分類し、それらの幾つかの感情を芸術鑑賞を契機として如何に呼び起こすかことが出来るかの議論)とともに、制作者側・鑑賞者側双方の潜在意識の中に沁み込んでいる伝統的インド文化そのものと言えよう。

#### (5)語り

音楽を交えた「語り芸」であるハリカター(Harikathā、「ヴィシュヌ神への語り」を含意する)は、その起源をラーマ物語の語り部「クシャとラヴァ」に求められるほど古い伝統を継ぐものであるが、南インド・タミル地方に展開したこの語り芸の様相を、西インドにあったマラーター王国(1675-1855)からの伝来要素という言語横断的展開をも看取しながら、道徳的芸術という視点で、研究協力者・小尾淳が精査した。二大叙事詩、プラーナ文献、各種の神話などから取材された、汎インド的にポピュラーな芸目がある一方、地方の聖者伝をテーマとしたローカルな内容のものも創作された。必ずしもタイトルから連想されるような、ヒンドゥー易行道とも言える汎インド的バクティ信仰の鼓吹が主眼なのではなかった。演じ手は、サンスクリット語や音楽の専門的知識のみならず、多くの地方語も繰ることができる、高度な専門職者であった。

他の地域でもプロの語り部たちが提供する語りの内容は、二大叙事詩、プラーナ等に由来するものが多い。例えば、『マハーバーラタ』中に組み込まれている「ナラ王物語」は地方語で『ドーラーマール (Dholā Mārū)』と題する「語りもの」としてしても楽しまれているが、ラージャスターン州で愛好されているものとチャッチースガル州に伝承されているものとは内容が異なり、それぞれ独自の展開があったことが分かる。

一方、語り部専門職の口によるのではない、家族・親戚、隣近所のあいだで、あるいは行商人が客集めのために披露する「語り」、すなわち民話・昔話の世界は、パーリ・ジャータカをはじめ、『パンチャタントラ』などサンスクリット説話集として作品化されて伝承されているが、明らかに口頭伝承されていた格言詩の引用の仕方や、後代数多くの地方語によって編まれた諸版のヴァラエティーの豊富を観察すると、我々が目にする作品は、たゆまない口頭伝承の一齣の記録と捉えることが出来るのである。

#### (6)美的表現方法

古典サンスクリット文学において、その言語の特殊性を余す所なく発揮すべく修辞論が高度に発展したが、12世紀以降、特に北ではイスラーム文化との相互影響の環境下、各地の地方語文学がそれぞれに隆盛をみることになり、たとえばヒンディー文学でも、ブラジ・バーシャー方言がクリシュナ信仰文学の用語に採用されて急速に洗練されるや修辞学書(ラサ論を含む文学理論書・詩論書)がしばしば創作された。サンスクリット修辞学を踏襲する形で言語的特徴を異にする文学に理論導入する同様の展開は、事情は異なれども南のカンナダ文学でも見られた。為政者らエリートたちが時代潮流に要求されるまま教養修得に努める姿も窺えたが、作例として自ら詩人でもある詩論家が詠み挟んだ讃嘆詩はパトロンである王族に向けられているところにも、当時の社会を映し出すものとしての詩論書の存在があった。

研究分担者、研究協力者による個々の研究成果については、論集の形でまとめた中間報告書(ISBN:978-4-907877-18-7)および報告書(ISBN:978-4-907877-21-7)を参照されたい。

## 5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計30件(うち査読付論文 18件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 6件)

〔雑誌論文〕 計30件(うち査読付論文 18件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 6件)	
1 . 著者名 水野善文	4.巻 22
2.論文標題 インドの響きを読み解く試み 音と情操	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 総合文化研究	6.最初と最後の頁 73-85
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.15026/92873	査読の有無無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名 Fujii,Morio	4.巻 3
2.論文標題 The View of Language of the Khurasan school of Mysticism, Tasawwuf-i Khurasan: An Essay Considering The Basic Structure of Mystical Discourse from the Perspective of "Unutterable Language"(Kalam nafsi)	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Islamic Studies and the Study of Sufism in Academic : Rethinking Methodologies, (Kyoto Kenan Rifai Center for Sufi Studies 3),	6.最初と最後の頁 331-351
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 坂田貞二	4.巻 139
2 . 論文標題 ヒンディー文学における「呪い」と「予言・夢」 叙事詩『ラーム チャリト マーナス』で16世紀の トゥルスィーダースが詠い訴えようとしたこと	5 . 発行年 2018年
3 . 雑誌名 拓殖大学 語学研究	6 . 最初と最後の頁 29-50
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	   査読の有無     有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名 Kawamura, Yuto	4.巻 28
2 . 論文標題 Sharanadeva's Device to Justify Vedic Usage in Non-Vedic Literature	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名 Journal of Indological Studies	6.最初と最後の頁 51-64
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1 . 著者名 Okita, Kiyokazu  2 . 論文標題 Ethics and Aesthetics in Early Modern South Asia: A Controversy surrounding the Bhagavata Purana Book X  3 . 雑誌名 International Journal of Hindu Studies  「根戦論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11407-018-9223-7  オープンアクセス  1 . 著者名 Okita, Kiyokazu  1 . 著者名 Okita, Kiyokazu  2 . 論文標題 Bitextuality in Bhagavata Purana X.29.  3 . 雑誌名 Journal of Indian and Buddhist Studies  「お表が表現します。」 「おまな、表現します。」 「まな、表現します。」 「おまな、表現します。」 「おまな、表現します。」 「まな、表現します。」 「おまな、表現します。」 「まな、表現します。」 「まな、まな、まな、まな、まな、まな、まな、まな、まな、まな、まな、まな、まな、ま	
2 . 論文標題 Ethics and Aesthetics in Early Modern South Asia: A Controversy surrounding the Bhagavata Purana Book X  3 . 雑誌名 International Journal of Hindu Studies  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10 .1007/s11407-018-9223-7  オープンアクセス  1 . 著者名 Okita, Kiyokazu  2 . 論文標題 Bitextuality in Bhagavata Purana X.29.  3 . 雑誌名 Journal of Indian and Buddhist Studies  5 . 発行年 2018年 2018年 2018年 2018年 25-43  4 . 是 6 . 最初と最後の頁 5 . 発行年 2019年 26 . 最初と最後の頁 1043-1048	
Ethics and Aesthetics in Early Modern South Asia: A Controversy surrounding the Bhagavata Purana Book X  3 . 雑誌名	
Ethics and Aesthetics in Early Modern South Asia: A Controversy surrounding the Bhagavata Purana Book X  3 . 雑誌名	
Purana Book X       3 . 雑誌名 International Journal of Hindu Studies       6 . 最初と最後の頁 25-43         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11407-018-9223-7	
3 . 雑誌名 International Journal of Hindu Studies       6 . 最初と最後の頁 25-43         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11407-018-9223-7       査読の有無         オープンアクセス       国際共著         オープンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難       -         1 . 著者名 Okita, Kiyokazu       4 . 巻 67-3         2 . 論文標題 Bitextuality in Bhagavata Purana X.29.       5 . 発行年 2019年         3 . 雑誌名 Journal of Indian and Buddhist Studies       6 . 最初と最後の頁 1043-1048	
International Journal of Hindu Studies   25-43     25-43       表談	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
10.1007/s11407-018-9223-7	
10.1007/s11407-018-9223-7	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 Okita, Kiyokazu 4 . 巻 67-3 2 . 論文標題 Bitextuality in Bhagavata Purana X.29. 5 . 発行年 2019年 3 . 雑誌名 Journal of Indian and Buddhist Studies 6 . 最初と最後の頁 1043-1048	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難-1 . 著者名 Okita, Kiyokazu4 . 巻 67-32 . 論文標題 Bitextuality in Bhagavata Purana X.29.5 . 発行年 2019年3 . 雑誌名 Journal of Indian and Buddhist Studies6 . 最初と最後の頁 1043-1048	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難-1 . 著者名 Okita, Kiyokazu4 . 巻 67-32 . 論文標題 Bitextuality in Bhagavata Purana X.29.5 . 発行年 2019年3 . 雑誌名 Journal of Indian and Buddhist Studies6 . 最初と最後の頁 1043-1048	
1 . 著者名 Okita, Kiyokazu  2 . 論文標題 Bitextuality in Bhagavata Purana X.29.  3 . 雑誌名 Journal of Indian and Buddhist Studies  4 . 巻 67-3  5 . 発行年 2019年  6 . 最初と最後の頁 1043-1048	
Okita, Kiyokazu 67-3  2 . 論文標題 Bitextuality in Bhagavata Purana X.29. 5 . 発行年 2019年  3 . 雑誌名 Journal of Indian and Buddhist Studies 6 . 最初と最後の頁 1043-1048	
Okita, Kiyokazu 67-3  2 . 論文標題 Bitextuality in Bhagavata Purana X.29. 5 . 発行年 2019年  3 . 雑誌名 Journal of Indian and Buddhist Studies 6 . 最初と最後の頁 1043-1048	
2.論文標題 Bitextuality in Bhagavata Purana X.29.  3.雑誌名 Journal of Indian and Buddhist Studies  5.発行年 2019年  6.最初と最後の頁 1043-1048	
Bitextuality in Bhagavata Purana X.29. 2019年  3.雑誌名 Journal of Indian and Buddhist Studies 6.最初と最後の頁 1043-1048	
Bitextuality in Bhagavata Purana X.29. 2019年  3 .雑誌名 Journal of Indian and Buddhist Studies 6 .最初と最後の頁 1043-1048	
3.雑誌名 Journal of Indian and Buddhist Studies 6.最初と最後の頁 1043-1048	
Journal of Indian and Buddhist Studies 1043-1048	
Journal of Indian and Buddhist Studies 1043-1048	
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	
掲載諞乂UUUI(ナシタルオフシェクト識別子)   査読の有無	
10.4259/ibk.67.3_1043 有	
+ - f\. 7 b + 7	
オープンアクセス 国際共著	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 -	
1. 著者名 4. 巻	
松村耕光	
2 . 論文標題 5 . 発行年	
雨と女の恋の歌 インドの雨季について 2019年	
3.雑誌名 6.最初と最後の頁	
印度民俗研究 79-89	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	
なし	
オープンアクセス 国際共著	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 -	
コープンプラ これではらなべ 人間の フンプラ これが 四次に	
1 . 著者名 4 . 巻	
- 1 · 4 目 G · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
Ti	
2 . 論文標題 5 . 発行年	
ジャイナ教における六十三偉人の形成とラーマ説話の関係 2018年	
3.雑誌名 6.最初と最後の頁	
印度學佛教學研究 494-488	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	
なし	
なし	

1 . 著名名 旧森建一 2 . 論文機器 ヴロード诞生の秘密 3 . 権益名 季刊民成学		
田森和	者有名	4 . 巻
2. 請文傅題 サロード選生の秘密       5. 発行年 2018年         3. 補誌名 李刊民族学       6. 最初と最後の頁 27-34         // 表書名 宮本久養       1. 著書名 宮本久養         2. 請文傳題 **シヴァ・ブラーナ。所収の「ヴィシュヴェーシュヴァラ・マーハートミヤ」: 和駅と結解       5. 発行年 2019年         3. 確認名 東洋学研究       6. 最初と厳後の頁 53-65         1. 著書名 長崎広子 2. 請文傅題 大鼓と女は即くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観       1. 音音名 長崎広子 2. 請文傅題 大鼓と女は即くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観       1. 音音名 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日間		166
サロード誕生の秘密       2019年         3. 創誌名 季刊民族学       6. 最初と配金の頁 27-34         掲載納文の201 (デジタルオブジェクト護別子) なし       国際共著 .         1. 富者名 宮本久養       4. 巻 56         2. 論文時題 ポッヴァ・ブラーナ。所収の「ヴィシュヴェーシュヴァラ・マーハートミヤ」: 和訳と註解       5. 飛行年 2019年         3. 礼誌名 東洋学明元       6. 最初と最後の頁 53-65         1. 著者名 長崎広子 2. 論文時題 太波となは叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観       4. 巻 18         2. 論文時題 大波とは「中くし・『ラームチャリットマーナス』の女性観       5. 飛行年 2019年         3. 礼誌名 市別と居後の頁 4-9-59       6. 無初と居後の頁 4-9-59         1. 著者名 水野喜女       4. 巻 1         1. 著者名 水野喜女       4. 巻 1         1. 著者名 水野喜女       4. 巻 1         2. 論文機器 インド部試にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に       5. 発行年 2017年         3. 離話名 水野喜女       4. 巻 1         1. 著者名 水野喜女       4. 巻 1         1. 著者名 水野喜女       4. 巻 1         1. 新者名 水野喜女       5. 発行年 2017年         3. 離話名 なし       7. 予行学り外オプジェクト護例子) なし       5. 発行年 2017年         3. 離話名 なし       7. 本子ブンアクセス       国際大者	ted with the	
サロード誕生の秘密       2019年         3. 創誌名 季刊民族学       6. 最初と配金の頁 27-34         掲載納文の201 (デジタルオブジェクト護別子) なし       国際共著 .         1. 富者名 宮本久養       4. 巻 56         2. 論文時題 ポッヴァ・ブラーナ。所収の「ヴィシュヴェーシュヴァラ・マーハートミヤ」: 和訳と註解       5. 飛行年 2019年         3. 礼誌名 東洋学明元       6. 最初と最後の頁 53-65         1. 著者名 長崎広子 2. 論文時題 太波となは叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観       4. 巻 18         2. 論文時題 大波とは「中くし・『ラームチャリットマーナス』の女性観       5. 飛行年 2019年         3. 礼誌名 市別と居後の頁 4-9-59       6. 無初と居後の頁 4-9-59         1. 著者名 水野喜女       4. 巻 1         1. 著者名 水野喜女       4. 巻 1         1. 著者名 水野喜女       4. 巻 1         2. 論文機器 インド部試にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に       5. 発行年 2017年         3. 離話名 水野喜女       4. 巻 1         1. 著者名 水野喜女       4. 巻 1         1. 著者名 水野喜女       4. 巻 1         1. 新者名 水野喜女       5. 発行年 2017年         3. 離話名 なし       7. 予行学り外オプジェクト護例子) なし       5. 発行年 2017年         3. 離話名 なし       7. 本子ブンアクセス       国際大者	0 AA-LEGE	5 7V./- 6-
3 ・解誌名 零刊民族学		5.発行年
季刊民族学     27-34       掲載論文の001(デジタルオブジェクト選別子)なし     置誘の有無無無       オープンアクセス     国際共著       1. 著者名 宮本久義     4. 巻 56       2. 論文標題 デッヴァ・ブラーナ。原収の「ヴィシュヴェーシュヴァラ・マーハートミヤ」: 和訳と註解     5. 飛行年 2019年       3. 雑誌名 東洋学研究     6. 最初と最後の頁 53-65       掲載論文の001(デジタルオブジェクト選別子)なし     面陽共著       1. 著名名 長崎広子 1. 著名名 長崎広子 1. 著名名 日庭民俗研究     4. 巻 16       2. 論文課題 5. 発行年 2019年     2019年       3. 雑誌名 日庭民俗研究 2. 論文書題 5. 発行年 2019年     2019年       4. 巻 1     1. 素者名 2. 第2 年間 2.	サロード誕生の秘密	2018年
季刊民族学     27-34       掲載論文の001(デジタルオブジェクト選別子)なし     置誘の有無無無       オープンアクセス     国際共著       1. 著者名 宮本久義     4. 巻 56       2. 論文標題 デッヴァ・ブラーナ。原収の「ヴィシュヴェーシュヴァラ・マーハートミヤ」: 和訳と註解     5. 飛行年 2019年       3. 雑誌名 東洋学研究     6. 最初と最後の頁 53-65       掲載論文の001(デジタルオブジェクト選別子)なし     面陽共著       1. 著名名 長崎広子 1. 著名名 長崎広子 1. 著名名 日庭民俗研究     4. 巻 16       2. 論文課題 5. 発行年 2019年     2019年       3. 雑誌名 日庭民俗研究 2. 論文書題 5. 発行年 2019年     2019年       4. 巻 1     1. 素者名 2. 第2 年間 2.		
季刊民族学     27-34       掲載論文の001(デジタルオブジェクト選別子)なし     置誘の有無無無       オープンアクセス     国際共著       1. 著者名 宮本久義     4. 巻 56       2. 論文標題 デッヴァ・ブラーナ。原収の「ヴィシュヴェーシュヴァラ・マーハートミヤ」: 和訳と註解     5. 飛行年 2019年       3. 雑誌名 東洋学研究     6. 最初と最後の頁 53-65       掲載論文の001(デジタルオブジェクト選別子)なし     面陽共著       1. 著名名 長崎広子 1. 著名名 長崎広子 1. 著名名 日庭民俗研究     4. 巻 16       2. 論文課題 5. 発行年 2019年     2019年       3. 雑誌名 日庭民俗研究 2. 論文書題 5. 発行年 2019年     2019年       4. 巻 1     1. 素者名 2. 第2 年間 2.	2	6 是知と是後の百
据数論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし		
### ### ### #########################	李刊民族学	27-34
### ### ### ### #####################		
### ### ### ### #####################		
### ### ### ### #####################	「根郵給☆のDOL/ごごね」サゴごテカト沖別フト	本芸の方無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難		
*** *** *** *** *** *** *** *** ***	なし	<b>#</b>
*** *** *** *** *** *** *** *** ***		
*** *** *** *** *** *** *** *** ***	オープンアクセス	国際共著
1. 著者名     宮本久義     2. 論文標題     『シヴァ・ブラーナ』所収の「ヴィシュヴェーシュヴァラ・マーハートミヤ」: 和駅と註解     3. 雑誌名     3. 雑誌名     末月学研究     日の表現と最後の頁     53.65     おの有無     右 ーブンアクセス     1. 著者名     長崎ム子     2. 論文標題     木前と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観     3. 雑誌名     印度民俗研究     3. 雑誌名     10 日際共著     3. 雑誌名     1 ・ 第4 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・		日が八日
宮本久義       5         2 . 論文標題 『シヴァ・ブラーナ』所収の「ヴィシュヴェーシュヴァラ・マーハートミヤ』: 和訳と註解       5       . 発行年 2019年 3. 雑誌名 日展民俗研究 2. 論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観 3. 雑誌名 日展民俗研究 2. 論文標題 オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 2. 論文標題 インド的話にみる共生 Pancadi vyadi vasaを中心に 2. 論文標題 インド的話にみる共生 Pancadi vyadi vasaを中心に 3. 雑誌名 水野喜文 4. 巻 1         1. 著者名 水野書文 2. 論文標題 インド的共生思想の総合的研究・・・・思想構造とその変容を巡って』白峰社 4. 巻 2017年	オープンアグセスではない、又はオープンアグセスが困難	-
宮本久義       5         2 . 論文標題 『シヴァ・ブラーナ』所収の「ヴィシュヴェーシュヴァラ・マーハートミヤ』: 和訳と註解       5       . 発行年 2019年 3. 雑誌名 日展民俗研究 2. 論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観 3. 雑誌名 日展民俗研究 2. 論文標題 オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 2. 論文標題 インド的話にみる共生 Pancadi vyadi vasaを中心に 2. 論文標題 インド的話にみる共生 Pancadi vyadi vasaを中心に 3. 雑誌名 水野喜文 4. 巻 1         1. 著者名 水野書文 2. 論文標題 インド的共生思想の総合的研究・・・・思想構造とその変容を巡って』白峰社 4. 巻 2017年		
宮本久義       5         2 . 論文標題 『シヴァ・ブラーナ』所収の「ヴィシュヴェーシュヴァラ・マーハートミヤ』: 和訳と註解       5       . 発行年 2019年 3. 雑誌名 日展民俗研究 2. 論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観 3. 雑誌名 日展民俗研究 2. 論文標題 オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 2. 論文標題 インド的話にみる共生 Pancadi vyadi vasaを中心に 2. 論文標題 インド的話にみる共生 Pancadi vyadi vasaを中心に 3. 雑誌名 水野喜文 4. 巻 1         1. 著者名 水野書文 2. 論文標題 インド的共生思想の総合的研究・・・・思想構造とその変容を巡って』白峰社 4. 巻 2017年	1 著者名	4
2. 論文標題 『シヴァ・ブラーナ』所収の「ヴィシュヴェーシュヴァラ・マーハートミヤ」: 和駅と註解  3. 雑誌名 東洋学研究  6. 最初と最後の頁 53-65  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  1. 著書名 長崎広子  2. 論文標題 太鼓と女は叩くベレ・『ラームチャリットマーナス』の女性観  3. 雑誌名 印度民俗研究  4. 巻 18  4. 巻 18  4. 巻 18  5. 発行年 2019年  6. 最初と最後の頁 49-59  「最談会の頁 49-59  「最談の有無 無 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著書名 水野画文  1. 著書名 水野画文  1. 著書名 水野画文  1. 著書名 水野画文  3. 雑誌名 和 指義機像『インド的共生思想の総合的研究・・・・思想構造とその変容を巡って』白峰社  相義論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし  現際共著  4. 巻 1 2017年  3. 雑誌名 和 信養線『インド的共生思想の総合的研究・・・・思想構造とその変容を巡って』白峰社  相義論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし  現際共著  オープンアクセス  国際共著		_
『シヴァ・ブラーナ』所収の「ヴィシュヴェーシュヴァラ・マーハートミヤ」: 和訳と註解       2019年         3 . 雑誌名 東洋学研究       6 . 最初と最後の頁 53-65         掲載論文のD01 (デジタルオブジェクト識別子)なし       直際共著 有         オーブンアクセス       1 . 養 18         2 . 論文標題 大鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観       5 . 発行年 2019年         3 . 雑誌名 日原度俗研究       6 . 屋初と最後の頁 49-59         掲載論文のD01 (デジタルオブジェクト識別子)なし       直続の有無 無         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       4 . 巻 1         1 . 著者名 水野壽文 インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に       5 . 発行年 2017年         3 . 雑誌名 和 信震編『インド的共生思想の総合的研究・・・思想構造とその変容を巡って』白峰社       6 . 最初と最後の頁 84-112         掲載論文のD01 (デジタルオプジェクト識別子)なし       査読の有無 6 . 最初の有無 有         オープンアクセス       面際共著	呂平久義	56
『シヴァ・ブラーナ』所収の「ヴィシュヴェーシュヴァラ・マーハートミヤ」: 和訳と註解       2019年         3 . 雑誌名 東洋学研究       6 . 最初と最後の頁 53-65         掲載論文のD01 (デジタルオブジェクト識別子)なし       直際共著 有         オーブンアクセス       1 . 養 18         2 . 論文標題 大鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観       5 . 発行年 2019年         3 . 雑誌名 日原度俗研究       6 . 屋初と最後の頁 49-59         掲載論文のD01 (デジタルオブジェクト識別子)なし       直続の有無 無         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       4 . 巻 1         1 . 著者名 水野壽文 インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に       5 . 発行年 2017年         3 . 雑誌名 和 信震編『インド的共生思想の総合的研究・・・思想構造とその変容を巡って』白峰社       6 . 最初と最後の頁 84-112         掲載論文のD01 (デジタルオプジェクト識別子)なし       査読の有無 6 . 最初の有無 有         オープンアクセス       面際共著		
『シヴァ・ブラーナ』所収の「ヴィシュヴェーシュヴァラ・マーハートミヤ」: 和訳と註解       2019年         3 、雑誌名 東洋学研究       6 ・最初と最後の頁 53-65         掲載論文のD01 (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 1         オーブンアクセス       1 ・養者名 長崎広子         1 ・ 議者名 長崎広子       4 ・巻 18         2 ・ 論文標題 大鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観       5 ・発行年 2019年         3 ・雑誌名 日原長俗研究       6 ・最初と最後の頁 49-59         掲載論文のD01 (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 無         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       1 ・巻 1         1 ・著者名 水野壽文 インド説話にみる共生 Pancadi vyadi vasaを中心に       5 ・発行年 2017年         3 ・雑誌名 和 信震線『インド的共生思想の総合的研究・・・思想構造とその変容を巡って』白峰社       6 ・最初と最後の頁 84-112         掲載論文のD01 (デジタルオプジェクト識別子) なし       査読の有編 有         オープンアクセス       国際共著	2.論文標題	5.発行年
3. 雑誌名 東洋学研究       6. 最初と最後の頁 53-65         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著         1. 著書名 長崎ム子       4. 巻 18         2. 論文模題 大鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観       5. 発行年 2019年         3. 雑誌名 印度民俗研究       6. 最初と最後の頁 49-59         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       直読の有無 無         オープンアクセス       国際共著         1. 著書名 水野壽文       4. 巻 1         2. 論文標題 インド訪託にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に       5. 発行年 2017年         3. 雑誌名 和 悟震編『インド的共生思想の総合的研究・・・・思想構造とその変容を巡って』白峰社       6. 最初と最後の頁 84-112         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著		
東洋学研究       53-65         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし       査読の有無 有         オーブンアクセス       国際共著 -         1. 著者名長崎広子       4. 巻 18         2. 論文標題大鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観       5. 発行年 2019年         3. 雑誌名印度民俗研究       6. 最初と最後の頁 49-59         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし       査読の有無 無         オープンアクセス       国際共著 -         1. 著者名水野善文       4. 巻 1         2. 論文標題インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に       5. 発行年 2017年         3. 雑誌名釈 信震編『インド的共生思想の総合的研究・・・思想構造とその変容を巡って』白峰社       6. 最初と最後の頁 84-112         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)ない       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	ノファーフフーフョ MHANO フィフュフェーフュファフ・マーハー にこじ」・fuli(C 計解)	2013+
東洋学研究     53-65       掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし     査読の有無有       オーブンアクセス     国際共著 -       1. 著者名長崎広子     4.巻 18       2.論文標題大鼓と文は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観 5.発行年2019年     5.発行年2019年       3. 雑誌名印度民俗研究 6.最初と最後の頁49-59     49-59       掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセスが困難		
東洋学研究     53-65       掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし     査読の有無有       オーブンアクセス     国際共著 -       1. 著者名長崎広子     4.巻 18       2.論文標題大鼓と文は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観 5.発行年2019年     5.発行年2019年       3. 雑誌名印度民俗研究 6.最初と最後の頁49-59     49-59       掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセスが困難	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オーブンアクセス オーブンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 長崎広子 2 . 論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観  3 . 雑誌名 印度民俗研究  4 . 巻 18 6 . 最初と最後の頁 49-59  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  1 . 著者名 オーブンアクセス オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1 . 著者名 水野畜文  2 . 論文標題 イント説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に 3 . 雑誌名 釈 信震館『インド的共生思想の総合的研究・・・・思想構造とその変容を巡って』白峰社  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なけ、アロイア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
なし 有 コープンアクセス 国際共著 - コープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 著者名 長崎広子 4 . 巻 18	ス/ナテWI76	00 00
### おープンアクセス		
### おープンアクセス		
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 長崎広子 2 . 論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観  3 . 雑誌名 印度民俗研究  4 . 巻 印度民俗研究  4 . 巻 の度民俗研究  5 . 発行年 2019年  3 . 雑誌名 の度民俗研究  49-59  編載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし  1 . 著者名 水野善文  1 . 著者名 水野善文  1 . 著者名 水野善文  2 . 論文標題 インド説話にみる共生 Pancadi vyadi vasaを中心に  3 . 雑誌名 釈 信震論『インド的共生思想の総合的研究・・・・思想構造とその変容を巡って』白峰社  4 . 巻 1	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 長崎広子 2 . 論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観  3 . 雑誌名 印度民俗研究  4 . 巻 印度民俗研究  4 . 巻 の度民俗研究  5 . 発行年 2019年  3 . 雑誌名 の度民俗研究  49-59  編載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし  1 . 著者名 水野善文  1 . 著者名 水野善文  1 . 著者名 水野善文  2 . 論文標題 インド説話にみる共生 Pancadi vyadi vasaを中心に  3 . 雑誌名 釈 信震論『インド的共生思想の総合的研究・・・・思想構造とその変容を巡って』白峰社  4 . 巻 1		
オープンアクセスとしている(また、その予定である)       -         1. 著者名 長崎広子       4. 巻 18         2. 論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観       5. 発行年 2019年         3. 雑誌名 印度民俗研究       6. 最初と最後の頁 49-59         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし       面際共著 1         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1       4. 巻 1         2. 論文標題 インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に 3. 雑誌名 釈 悟震編『インド的共生思想の総合的研究思想構造とその変容を巡って』白峰社       6. 最初と最後の頁 84-112         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし       査読の有無 7         オープンアクセス       国際共著	& O	H H
オープンアクセスとしている(また、その予定である)       -         1. 著者名 長崎広子       4. 巻 18         2. 論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観       5. 発行年 2019年         3. 雑誌名 印度民俗研究       6. 最初と最後の頁 49-59         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし       面際共著 1         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1       4. 巻 1         2. 論文標題 インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に 3. 雑誌名 釈 悟震編『インド的共生思想の総合的研究思想構造とその変容を巡って』白峰社       6. 最初と最後の頁 84-112         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし       査読の有無 7         オープンアクセス       国際共著		
1 . 著者名 長崎広子       4 . 巻 18         2 . 論文標題 太鼓と女は叩くベレ・『ラームチャリットマーナス』の女性観       5 . 発行年 2019年         3 . 雑誌名 印度民俗研究       6 . 最初と最後の頁 49-59         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         オープンアクセス 本ープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       1 . 養者名 水野善文         1 . 養者名 水野善文       4 . 巻 1         2 . 論文標題 インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に       5 . 発行年 2017年         3 . 雑誌名 釈 信震編『インド的共生思想の総合的研究思想構造とその変容を巡って』白峰社       6 . 最初と最後の頁 84-112         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 なし         オーブンアクセス       国際共著	オーブンアクセス	国際共著
1 . 著者名 長崎広子       4 . 巻 18         2 . 論文標題 太鼓と女は叩くベレ・『ラームチャリットマーナス』の女性観       5 . 発行年 2019年         3 . 雑誌名 印度民俗研究       6 . 最初と最後の頁 49-59         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         オープンアクセス 本ープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       1 . 養者名 水野善文         1 . 養者名 水野善文       4 . 巻 1         2 . 論文標題 インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に       5 . 発行年 2017年         3 . 雑誌名 釈 信震編『インド的共生思想の総合的研究思想構造とその変容を巡って』白峰社       6 . 最初と最後の頁 84-112         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 なし         オーブンアクセス       国際共著	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	_
長崎広子       18         2. 論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観       5. 発行年 2019年         3. 雑誌名 印度民俗研究       6. 最初と最後の頁 49-59         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし       重読の有無 無         オープンアクセス 水野善文       国際共著 1         2. 論文標題 インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に       5. 発行年 2017年         3. 雑誌名 釈 悟震編『インド的共生思想の総合的研究・・・・思想構造とその変容を巡って』白峰社       6. 最初と最後の頁 84-112         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし       査読の有無 6         オープンアクセス       国際共著		l l
長崎広子       18         2. 論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観       5. 発行年 2019年         3. 雑誌名 印度民俗研究       6. 最初と最後の頁 49-59         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし       重読の有無 無         オープンアクセス 水野善文       国際共著 1         2. 論文標題 インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に       5. 発行年 2017年         3. 雑誌名 釈 悟震編『インド的共生思想の総合的研究・・・・思想構造とその変容を巡って』白峰社       6. 最初と最後の頁 84-112         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし       査読の有無 6         オープンアクセス       国際共著		
2 . 論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観       5 . 発行年 2019年         3 . 雑誌名 印度民俗研究       6 . 最初と最後の頁 49-59         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       国際共著 ・         1 . 著者名 水野書文       4 . 巻 1         2 . 論文標題 インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に       5 . 発行年 2017年         3 . 雑誌名 釈 悟震編『インド的共生思想の総合的研究・・・・思想構造とその変容を巡って』白峰社       6 . 最初と最後の頁 84-112         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著		
2 . 論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観       5 . 発行年 2019年         3 . 雑誌名 印度民俗研究       6 . 最初と最後の頁 49-59         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       国際共著 -         1 . 著者名 水野書文       4 . 巻 1         2 . 論文標題 インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に       5 . 発行年 2017年         3 . 雑誌名 釈 悟震編『インド的共生思想の総合的研究・・・・思想構造とその変容を巡って』白峰社       6 . 最初と最後の頁 84-112         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	1.著者名	4 . 含
太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観       2019年         3 . 雑誌名 印度民俗研究       6 . 最初と最後の頁 49-59         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         1 . 著者名 水野善文       4 . 巻 1         2 . 論文標題 インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に       5 . 発行年 2017年         3 . 雑誌名 釈 悟震編『インド的共生思想の総合的研究・・・・思想構造とその変容を巡って』白峰社       6 . 最初と最後の頁 84-112         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 6         オープンアクセス       国際共著		_
太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観       2019年         3 . 雑誌名 印度民俗研究       6 . 最初と最後の頁 49-59         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし       重読の有無 無         1 . 著者名 水野善文       4 . 巻 1         2 . 論文標題 インド説話にみる共生 Pancadi vyadi vasaを中心に       5 . 発行年 2017年         3 . 雑誌名 釈 悟震編『インド的共生思想の総合的研究・・・・思想構造とその変容を巡って』白峰社       6 . 最初と最後の頁 84-112         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著		_
3 . 雑誌名       6 . 最初と最後の頁         印度民俗研究	長崎広子	18
日度民俗研究 49-59	長崎広子 2.論文標題	5 . 発行年
日度民俗研究 49-59	長崎広子 2.論文標題	5 . 発行年
日度民俗研究 49-59 名読の有無 (本) (デジタルオブジェクト識別子) (本) (デジタルオブジェクト識別子) (本) (ボーブンアクセス (本) (ボーブンアクセスが困難 (本) (ボーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 (本) (ボーブンアクセスが困難 (ボーブンアクセス (国際共著 (エーブンアクセス (国際共著 (国際) (国際共著 (国際) (国際) (国際) (国際) (国際) (国際) (国際) (国際)	長崎広子 2.論文標題	5 . 発行年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オーブンアクセス  オーブンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 水野善文  2 . 論文標題 インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に  3 . 雑誌名 釈 悟震編『インド的共生思想の総合的研究思想構造とその変容を巡って』白峰社  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  国際共著	長崎広子 2 . 論文標題 太鼓と女は叩くべし - 『ラームチャリットマーナス』の女性観	18 5.発行年 2019年
# 日際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 日際共著 - 1 . 著者名 水野善文 4 . 巻 1	長崎広子  2.論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観  3.雑誌名	18 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
# 日際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 日際共著 - 1 . 著者名 水野善文 4 . 巻 1	長崎広子  2.論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観  3.雑誌名	18 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
# 日際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 日際共著 - 1 . 著者名 水野善文 4 . 巻 1	長崎広子  2 . 論文標題 太鼓と女は叩くべし - 『ラームチャリットマーナス』の女性観  3 . 雑誌名	18 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
# 日際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 日際共著 - 1 . 著者名 水野善文 4 . 巻 1	長崎広子  2.論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観  3.雑誌名	18 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       1 . 著者名 <ul> <li>水野善文</li> <li>4 . 巻</li></ul>	長崎広子  2 . 論文標題 太鼓と女は叩くべし - 『ラームチャリットマーナス』の女性観  3 . 雑誌名 印度民俗研究	18 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 49-59
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1 . 著者名 水野善文       4 . 巻 1         2 . 論文標題 インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に       5 . 発行年 2017年         3 . 雑誌名 釈 悟震編『インド的共生思想の総合的研究思想構造とその変容を巡って』白峰社       6 . 最初と最後の頁 84-112         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	長崎広子  2 . 論文標題 太鼓と女は叩くべし - 『ラームチャリットマーナス』の女性観  3 . 雑誌名 印度民俗研究  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	18 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 49-59 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1 . 著者名 水野善文       4 . 巻 1         2 . 論文標題 インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に       5 . 発行年 2017年         3 . 雑誌名 釈 悟震編『インド的共生思想の総合的研究思想構造とその変容を巡って』白峰社       6 . 最初と最後の頁 84-112         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	長崎広子  2 . 論文標題 太鼓と女は叩くべし - 『ラームチャリットマーナス』の女性観  3 . 雑誌名 印度民俗研究  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	18 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 49-59 査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       -         1 . 著者名 水野善文       4 . 巻 1         2 . 論文標題 インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に       5 . 発行年 2017年         3 . 雑誌名 釈 悟震編『インド的共生思想の総合的研究思想構造とその変容を巡って』白峰社       6 . 最初と最後の頁 84-112         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	長崎広子  2 . 論文標題 太鼓と女は叩くべし - 『ラームチャリットマーナス』の女性観  3 . 雑誌名 印度民俗研究  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	18 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 49-59 査読の有無
1 . 著者名 水野善文       4 . 巻 1         2 . 論文標題 インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に       5 . 発行年 2017年         3 . 雑誌名 釈 悟震編『インド的共生思想の総合的研究思想構造とその変容を巡って』白峰社       6 . 最初と最後の頁 84-112         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	長崎広子         2. 論文標題 太鼓と女は叩くべし - 『ラームチャリットマーナス』の女性観         3. 雑誌名 印度民俗研究         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	18 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 49-59  査読の有無
水野善文12.論文標題 インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に5.発行年 2017年3.雑誌名 釈 悟震編『インド的共生思想の総合的研究思想構造とその変容を巡って』白峰社6.最初と最後の頁 84-112掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著	長崎広子         2. 論文標題 太鼓と女は叩くべし - 『ラームチャリットマーナス』の女性観         3. 雑誌名 印度民俗研究         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス	18 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 49-59  査読の有無
水野善文12.論文標題 インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に5.発行年 2017年3.雑誌名 釈 悟震編『インド的共生思想の総合的研究思想構造とその変容を巡って』白峰社6.最初と最後の頁 84-112掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著	長崎広子         2. 論文標題 太鼓と女は叩くべし - 『ラームチャリットマーナス』の女性観         3. 雑誌名 印度民俗研究         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス	18 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 49-59  査読の有無
水野善文12.論文標題 インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に5.発行年 2017年3.雑誌名 釈 悟震編『インド的共生思想の総合的研究思想構造とその変容を巡って』白峰社6.最初と最後の頁 84-112掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著	<ul> <li>長崎広子</li> <li>2.論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観</li> <li>3.雑誌名 印度民俗研究</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし</li> <li>オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> </ul>	18 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 49-59  査読の有無 無 国際共著
2.論文標題 インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に5.発行年 2017年3.雑誌名 釈 悟震編『インド的共生思想の総合的研究思想構造とその変容を巡って』白峰社6.最初と最後の頁 84-112掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著	<ul> <li>長崎広子</li> <li>2.論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観</li> <li>3.雑誌名 印度民俗研究</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし</li> <li>オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> </ul>	18 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 49-59  査読の有無 無 国際共著
インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に2017年3.雑誌名 釈 悟震編『インド的共生思想の総合的研究思想構造とその変容を巡って』白峰社6.最初と最後の頁 84-112掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著	長崎広子         2. 論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観         3. 雑誌名 印度民俗研究         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1. 著者名	18 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 49-59  査読の有無 無 国際共著
インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に2017年3.雑誌名 釈 悟震編『インド的共生思想の総合的研究思想構造とその変容を巡って』白峰社6.最初と最後の頁 84-112掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著	長崎広子         2. 論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観         3. 雑誌名 印度民俗研究         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1. 著者名	18 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 49-59  査読の有無 無 国際共著
3.雑誌名       6.最初と最後の頁         釈 悟震編『インド的共生思想の総合的研究思想構造とその変容を巡って』白峰社       84-112         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         なし       有         オープンアクセス       国際共著	長崎広子         2.論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観         3.雑誌名 印度民俗研究         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1.著者名 水野善文	18 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 49-59  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 1
3.雑誌名       6.最初と最後の頁         釈 悟震編『インド的共生思想の総合的研究思想構造とその変容を巡って』白峰社       84-112         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         なし       有         オープンアクセス       国際共著	<ul> <li>長崎広子</li> <li>2.論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観</li> <li>3.雑誌名 印度民俗研究</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1.著者名 水野善文</li> <li>2.論文標題</li> </ul>	18 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 49-59  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 1
釈 悟震編『インド的共生思想の総合的研究思想構造とその変容を巡って』白峰社84-112掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著	<ul> <li>長崎広子</li> <li>2.論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観</li> <li>3.雑誌名 印度民俗研究</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1.著者名 水野善文</li> <li>2.論文標題</li> </ul>	18 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 49-59  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年
釈 悟震編『インド的共生思想の総合的研究思想構造とその変容を巡って』白峰社84-112掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし査読の有無 有オープンアクセス国際共著	<ul> <li>長崎広子</li> <li>2.論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観</li> <li>3.雑誌名 印度民俗研究</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし</li> <li>オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1.著者名 水野善文</li> <li>2.論文標題</li> </ul>	18 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 49-59  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)     査読の有無       なし     有       オープンアクセス     国際共著	長崎広子         2. 論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観         3. 雑誌名 印度民俗研究         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1. 著者名 水野善文         2. 論文標題 インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に	18 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 49-59  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2017年
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)     査読の有無       なし     有       オープンアクセス     国際共著	長崎広子         2. 論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観         3. 雑誌名 印度民俗研究         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1. 著者名 水野善文         2. 論文標題 インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に         3. 雑誌名	18 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 49-59  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
なし     有       オープンアクセス     国際共著	長崎広子         2. 論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観         3. 雑誌名 印度民俗研究         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1. 著者名 水野善文         2. 論文標題 インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に         3. 雑誌名	18 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 49-59  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
なし     有       オープンアクセス     国際共著	長崎広子         2. 論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観         3. 雑誌名 印度民俗研究         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1. 著者名 水野善文         2. 論文標題 インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に         3. 雑誌名	18 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 49-59  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
なし     有       オープンアクセス     国際共著	長崎広子         2. 論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観         3. 雑誌名 印度民俗研究         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1. 著者名 水野善文         2. 論文標題 インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に         3. 雑誌名	18 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 49-59  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス 国際共著	<ul> <li>長崎広子</li> <li>2 . 論文標題 太鼓と女は叩くべし - 『ラームチャリットマーナス』の女性観</li> <li>3 . 雑誌名 印度民俗研究</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス</li></ul>	18 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 49-59  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 84-112
オープンアクセス 国際共著	<ul> <li>長崎広子</li> <li>2 . 論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観</li> <li>3 . 雑誌名 印度民俗研究</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1 . 著者名 水野善文</li> <li>2 . 論文標題 インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に</li> <li>3 . 雑誌名 釈 悟震編『インド的共生思想の総合的研究思想構造とその変容を巡って』白峰社</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)</li> </ul>	18 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 49-59  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 84-112  査読の有無
	<ul> <li>長崎広子</li> <li>2 . 論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観</li> <li>3 . 雑誌名 印度民俗研究</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1 . 著者名 水野善文</li> <li>2 . 論文標題 インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に</li> <li>3 . 雑誌名 釈 悟震編『インド的共生思想の総合的研究思想構造とその変容を巡って』白峰社</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)</li> </ul>	18 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 49-59  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 84-112  査読の有無
	<ul> <li>長崎広子</li> <li>2 . 論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観</li> <li>3 . 雑誌名 印度民俗研究</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1 . 著者名 水野善文</li> <li>2 . 論文標題 インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に</li> <li>3 . 雑誌名 釈 悟震編『インド的共生思想の総合的研究思想構造とその変容を巡って』白峰社</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)</li> </ul>	18 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 49-59  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 84-112  査読の有無
オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難	<ul> <li>長崎広子</li> <li>2 . 論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観</li> <li>3 . 雑誌名 印度民俗研究</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス</li></ul>	18 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 49-59  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 84-112  査読の有無 有
	<ul> <li>長崎広子</li> <li>2 . 論文標題 太鼓と女は叩くべし・『ラームチャリットマーナス』の女性観</li> <li>3 . 雑誌名 印度民俗研究</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1 . 著者名 水野善文</li> <li>2 . 論文標題 インド説話にみる共生 Pancadivyadivasaを中心に</li> <li>3 . 雑誌名 釈 悟震編『インド的共生思想の総合的研究思想構造とその変容を巡って』白峰社</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス</li> </ul>	18 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 49-59  査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 84-112  査読の有無 有

│1.著者名	4 . 巻
丹羽京子	94
71338.1	
0 AA-LITET	= 7V./= h=
2.論文標題	5.発行年
ビシュヌ・デの『地獄』	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
東京外国語大学論集	69-86
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	<del>////</del>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	<u>.</u>
1 . 著者名	4 . 巻
丹羽京子	95
2.論文標題	5 . 発行年
クゴール、ポスト·タゴール、エリオット	2017年
フョール、かへ III フョール、エリオッド	2017+
100	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
東京外国語大学論集	147-170
	'-
担耕や中のDOL / ニングカルナブジェカト Moni フン	本柱の左伸
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし こうしゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう	無
オープンアクセス	国際共著
	日かハコ
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4.巻
Niwa, Kyoko	10
itima, Nyoko	
2	F 38/-/-
2 . 論文標題	5.発行年
Japan Yatri as a travel literature,	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
International Journal of Bengal Studies	391-407
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
<i>&amp;</i> ∪	***
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	<u>'</u>
1 英字々	1 <del>*</del>
1 . 著者名	4. 巻
長崎広子	9
2 . 論文標題	5 . 発行年
	2018年
ヒンディー詩における音韻的リズム	2010年
	6.最初と最後の頁
3 . 雑誌名	0.取別と取扱の員
3.雑誌名 南アジア言語文化	56-76
南アジア言語文化	56-76
南アジア言語文化	56-76
南アジア言語文化 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	56-76 査読の有無
南アジア言語文化 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	56-76 査読の有無 有
南アジア言語文化 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	56-76 査読の有無
南アジア言語文化 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	56-76 査読の有無 有

1.著者名 長崎広子	
長崎広子	│ 4.巻
	17
A A A TWO	_ 7/
2.論文標題	5 . 発行年
ムガル皇帝アクバルとふたりのスールダースー聖者伝文学の記述をとおして	2018年
0. 1844.67	C B T L B # 6 F
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
印度民俗研究	43-63
11,250,11,11,15	1.5 0.5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
4.0	,
	<b>国際共</b> 業
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	•
4 ****	4 **
1.著者名	4 . 巻
Nagasaki, Hiroko	1
•	
2、 4公分+振時	F 35/2/F
2.論文標題	5.発行年
Duality in the Language and Literary Style of Raskhan's Poetry	2018年
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
2 145-47	C = 17 1. = 4 2 =
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Tyler Williams, Anshu Malhotra, and John Stratton Hawley(eds.)Text and Tradition in Early	159-173
Modern North India, Delhi: Oxford University Press India	
modelli North mara, benn. Oxford university fress mara	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	↑査読の有無
なし	有
4 U	, F
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
カーノンテクとれてはなり、人はカーノンテクとスが四架	
1.著者名	4.巻
松村耕光	11
1413 6176	
2.論文標題	5.発行年
ガザル(1) イクバールのウルドゥー詩(11)	2018年
22.20(1) 12.11 2002.201 2 82 (11)	2010—
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
イスラーム世界研究	313-321
	0.0 02.
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	<u></u> 査読の有無 有
なし	有
	有
オープンアクセス	
なし	有
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	有
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	有
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakata, Teiji	有 国際共著 - 4 . 巻 1
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakata, Teiji	有 国際共著 - 4 . 巻 1
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakata, Teiji  2 . 論文標題	有 国際共著 - 4.巻 1 5.発行年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakata, Teiji  2 . 論文標題 Hindi Barahmasa Tradition: From Narpati Nalha to Present-Day Folk Songs and Popular	有 国際共著 - 4 . 巻 1
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakata, Teiji  2 . 論文標題 Hindi Barahmasa Tradition: From Narpati Nalha to Present-Day Folk Songs and Popular Publications	有 国際共著 - 4.巻 1 5.発行年 2018年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakata, Teiji  2 . 論文標題 Hindi Barahmasa Tradition: From Narpati Nalha to Present-Day Folk Songs and Popular Publications	有 国際共著 - 4.巻 1 5.発行年 2018年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakata, Teiji  2 . 論文標題 Hindi Barahmasa Tradition: From Narpati Nalha to Present-Day Folk Songs and Popular Publications 3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakata, Teiji  2 . 論文標題 Hindi Barahmasa Tradition: From Narpati Nalha to Present-Day Folk Songs and Popular Publications  3 . 雑誌名 Tyler Williams, Anshu Malhotra, and John Stratton Hawley(eds.)Text and Tradition in Early	有 国際共著 - 4.巻 1 5.発行年 2018年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakata, Teiji  2 . 論文標題 Hindi Barahmasa Tradition: From Narpati Nalha to Present-Day Folk Songs and Popular Publications 3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakata, Teiji  2 . 論文標題 Hindi Barahmasa Tradition: From Narpati Nalha to Present-Day Folk Songs and Popular Publications  3 . 雑誌名 Tyler Williams, Anshu Malhotra, and John Stratton Hawley(eds.)Text and Tradition in Early	有 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakata, Teiji  2 . 論文標題 Hindi Barahmasa Tradition: From Narpati Nalha to Present-Day Folk Songs and Popular Publications  3 . 雑誌名 Tyler Williams, Anshu Malhotra, and John Stratton Hawley(eds.)Text and Tradition in Early Modern North India, Delhi: Oxford University Press India	有 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 219-231
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakata, Teiji  2 . 論文標題 Hindi Barahmasa Tradition: From Narpati Nalha to Present-Day Folk Songs and Popular Publications  3 . 雑誌名 Tyler Williams, Anshu Malhotra, and John Stratton Hawley(eds.)Text and Tradition in Early Modern North India, Delhi: Oxford University Press India  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	有 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 219-231
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakata, Teiji  2 . 論文標題 Hindi Barahmasa Tradition: From Narpati Nalha to Present-Day Folk Songs and Popular Publications  3 . 雑誌名 Tyler Williams, Anshu Malhotra, and John Stratton Hawley(eds.)Text and Tradition in Early Modern North India, Delhi: Oxford University Press India	有 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 219-231
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakata, Teiji  2 . 論文標題 Hindi Barahmasa Tradition: From Narpati Nalha to Present-Day Folk Songs and Popular Publications  3 . 雑誌名 Tyler Williams, Anshu Malhotra, and John Stratton Hawley(eds.)Text and Tradition in Early Modern North India, Delhi: Oxford University Press India  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	有 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 219-231
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakata, Teiji  2 . 論文標題 Hindi Barahmasa Tradition: From Narpati Nalha to Present-Day Folk Songs and Popular Publications  3 . 雑誌名 Tyler Williams, Anshu Malhotra, and John Stratton Hawley(eds.)Text and Tradition in Early Modern North India, Delhi: Oxford University Press India  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし	有 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 219-231 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakata, Teiji  2 . 論文標題 Hindi Barahmasa Tradition: From Narpati Nalha to Present-Day Folk Songs and Popular Publications  3 . 雑誌名 Tyler Williams, Anshu Malhotra, and John Stratton Hawley(eds.)Text and Tradition in Early Modern North India, Delhi: Oxford University Press India  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	有 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 219-231

1.著者名	4 244
	4.巻
臼田雅之	265
2 . 論文標題	5 . 発行年
	2018年
ベンガル語の詩の世界から見た「殺人事件」	2010 <del>11</del>
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
詩界	17-24
4971	., 2.
	<u> </u>
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
オープンテクセスとはない、又はオープンテクセスが四無	-
1.著者名	4 . 巻
山畑倫志	65-1
	F 整仁在
2 . 論文標題	5 . 発行年
ネーミナータ説話の変容 行伝から季節詩へ	2017年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
印度学仏教学研究	470-475
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
<i>1</i> 4. ∪	THE STATE OF THE S
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
田森雅一	15
	5.発行年
2.論文標題	2 . /0 1
······	
" 再帰的グローカル化 " と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一	2018年
" 再帰的グローカル化 " と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一族の100年	2018年
"再帰的グローカル化"と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一族の100年 3.雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁
" 再帰的グローカル化 " と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一族の100年	2018年
"再帰的グローカル化"と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一族の100年 3.雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁
"再帰的グローカル化"と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一族の100年 3.雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁
"再帰的グローカル化"と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一族の100年 3.雑誌名 関西学院大学・先端社会研究所紀要	2018年 6 . 最初と最後の頁 115-133
"再帰的グローカル化"と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一族の100年 3.雑誌名 関西学院大学・先端社会研究所紀要 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2018年 6.最初と最後の頁 115-133 査読の有無
"再帰的グローカル化"と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一族の100年 3.雑誌名 関西学院大学・先端社会研究所紀要	2018年 6 . 最初と最後の頁 115-133
<ul> <li>"再帰的グローカル化"と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一族の100年</li> <li>3.雑誌名 関西学院大学・先端社会研究所紀要</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし</li> </ul>	2018年 6.最初と最後の頁 115-133 査読の有無 無
"再帰的グローカル化"と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一族の100年 3.雑誌名 関西学院大学・先端社会研究所紀要 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2018年 6.最初と最後の頁 115-133 査読の有無
<ul> <li>"再帰的グローカル化"と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一族の100年</li> <li>3.雑誌名 関西学院大学・先端社会研究所紀要</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス</li> </ul>	2018年 6.最初と最後の頁 115-133 査読の有無 無
<ul> <li>"再帰的グローカル化"と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一族の100年</li> <li>3.雑誌名 関西学院大学・先端社会研究所紀要</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし</li> </ul>	2018年 6.最初と最後の頁 115-133 査読の有無 無
<ul> <li>"再帰的グローカル化"と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一族の100年</li> <li>3.雑誌名 関西学院大学・先端社会研究所紀要</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> </ul>	2018年 6.最初と最後の頁 115-133  査読の有無 無 国際共著
<ul> <li>"再帰的グローカル化"と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一族の100年</li> <li>3.雑誌名 関西学院大学・先端社会研究所紀要</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1.著者名</li> </ul>	2018年 6.最初と最後の頁 115-133  査読の有無 無 国際共著
<ul> <li>"再帰的グローカル化"と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一族の100年</li> <li>3.雑誌名 関西学院大学・先端社会研究所紀要</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> </ul>	2018年 6.最初と最後の頁 115-133  査読の有無 無 国際共著
<ul> <li>"再帰的グローカル化"と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一族の100年</li> <li>3.雑誌名 関西学院大学・先端社会研究所紀要</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1.著者名</li> </ul>	2018年 6.最初と最後の頁 115-133  査読の有無 無 国際共著
<ul> <li>"再帰的グローカル化"と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一族の100年</li> <li>3.雑誌名 関西学院大学・先端社会研究所紀要</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1.著者名 水野善文</li> </ul>	2018年 6.最初と最後の頁 115-133  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 第65輯
<ul> <li>"再帰的グローカル化"と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一族の100年</li> <li>3.雑誌名 関西学院大学・先端社会研究所紀要</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1.著者名 水野善文</li> <li>2.論文標題</li> </ul>	2018年 6.最初と最後の頁 115-133  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 第65輯 5.発行年
<ul> <li>"再帰的グローカル化"と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一族の100年</li> <li>3.雑誌名 関西学院大学・先端社会研究所紀要</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1.著者名 水野善文</li> </ul>	2018年 6.最初と最後の頁 115-133  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 第65輯
<ul> <li>" 再帰的グローカル化"と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一族の100年</li> <li>3 . 雑誌名 関西学院大学・先端社会研究所紀要</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1 . 著者名 水野善文</li> <li>2 . 論文標題 故知のクンビーラ 金毘羅由来説再考</li> </ul>	2018年 6.最初と最後の頁 115-133  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 第65輯  5.発行年 2016年
<ul> <li>" 再帰的グローカル化"と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一族の100年</li> <li>3 . 雑誌名 関西学院大学・先端社会研究所紀要</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1 . 著者名 水野善文</li> <li>2 . 論文標題 故知のクンビーラ 金毘羅由来説再考</li> </ul>	2018年 6.最初と最後の頁 115-133  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 第65輯 5.発行年
<ul> <li>" 再帰的グローカル化 " と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一族の100年</li> <li>3 . 雑誌名 関西学院大学・先端社会研究所紀要</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1 . 著者名 水野善文</li> <li>2 . 論文標題 故知のクンビーラ 金毘羅由来説再考</li> <li>3 . 雑誌名</li> </ul>	2018年 6.最初と最後の頁 115-133  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 第65輯  5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁
<ul> <li>"再帰的グローカル化"と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一族の100年</li> <li>3.雑誌名 関西学院大学・先端社会研究所紀要</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1.著者名 水野善文</li> <li>2.論文標題 故知のクンビーラ 金毘羅由来説再考</li> </ul>	2018年 6.最初と最後の頁 115-133  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 第65輯  5.発行年 2016年
<ul> <li>" 再帰的グローカル化 " と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一族の100年</li> <li>3 . 雑誌名 関西学院大学・先端社会研究所紀要</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1 . 著者名 水野善文</li> <li>2 . 論文標題 故知のクンビーラ 金毘羅由来説再考</li> <li>3 . 雑誌名</li> </ul>	2018年 6.最初と最後の頁 115-133  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 第65輯  5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁
<ul> <li>"再帰的グローカル化"と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一族の100年</li> <li>3 . 雑誌名 関西学院大学・先端社会研究所紀要</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1 . 著者名 水野善文</li> <li>2 . 論文標題 故知のクンビーラ 金毘羅由来説再考</li> <li>3 . 雑誌名 智山学報:小峰彌彦先生・小山典勇先生古稀記念・転法輪の歩み</li> </ul>	2018年 6.最初と最後の頁 115-133  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 第65輯 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 103-122頁
<ul> <li>" 再帰的グローカル化 " と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一族の100年</li> <li>3 . 雑誌名 関西学院大学・先端社会研究所紀要</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1 . 著者名 水野善文</li> <li>2 . 論文標題 故知のクンビーラ 金毘羅由来説再考</li> <li>3 . 雑誌名</li> </ul>	2018年 6.最初と最後の頁 115-133  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 第65輯  5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁
# 再帰的グローカル化 " と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一族の100年 3 . 雑誌名 関西学院大学・先端社会研究所紀要 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 水野善文 2 . 論文標題 故知のクンピーラ 金毘羅由来説再考 3 . 雑誌名 智山学報:小峰彌彦先生・小山典勇先生古稀記念・転法輪の歩み 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	2018年 6.最初と最後の頁 115-133  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 第65輯 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 103-122頁
<ul> <li>"再帰的グローカル化"と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一族の100年</li> <li>3 . 雑誌名 関西学院大学・先端社会研究所紀要</li> <li>掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1 . 著者名 水野善文</li> <li>2 . 論文標題 故知のクンビーラ 金毘羅由来説再考</li> <li>3 . 雑誌名 智山学報:小峰彌彦先生・小山典勇先生古稀記念・転法輪の歩み</li> </ul>	2018年 6.最初と最後の頁 115-133  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 第65輯 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 103-122頁
<ul> <li>"再帰的グローカル化"と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一族の100年</li> <li>3 . 雑誌名 関西学院大学・先端社会研究所紀要</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし</li> <li>オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難</li> <li>1 . 著者名 水野善文</li> <li>2 . 論文標題 故知のクンピーラ 金毘羅由来説再考</li> <li>3 . 雑誌名 智山学報:小峰彌彦先生・小山典勇先生古稀記念・転法輪の歩み</li> <li>掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし</li> </ul>	2018年 6.最初と最後の頁 115-133  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 第65輯 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 103-122頁  査読の有無 無
# 再帰的グローカル化 " と音楽伝統の再生産 インド・ラージャスターンにおけるムスリム世襲音楽家一族の100年 3 . 雑誌名 関西学院大学・先端社会研究所紀要 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 水野善文 2 . 論文標題 故知のクンピーラ 金毘羅由来説再考 3 . 雑誌名 智山学報:小峰彌彦先生・小山典勇先生古稀記念・転法輪の歩み 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	2018年 6.最初と最後の頁 115-133  査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 第65輯 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 103-122頁

1.著者名	4.巻
	第20号
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
	5.発行年
根無し草として生きる~ショイヨド・ワリウッラとふたつの『赤いシャールー』~	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
総合文化研究	27-47
総百久化明九	21-41
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	, m
オープンアクセス	国際共著
	四际六 <b>有</b>
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4.巻
Kawamura, Yuto	12
Kawamura, Tuto	12
2 . 論文標題	5 . 発行年
Bhatti's Knowledge of Katyayana's and Patanjali's Auguments	2016年
2 雑註夕	6.最初と最後の頁
3 . 雑誌名	
Asian Classical Studies	197-203
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
2 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	I .
1 女老々	1 <del>*</del>
1.著者名	4 . 巻
川村悠人	68
7H11 62人	
المنظرة المارات	
2 . 論文標題	5.発行年
2.論文標題 汚地に咲く花は美しいか 文法性の保守と詩的装飾のジレンマ	5.発行年 2016年
2 . 論文標題	5.発行年
2. 論文標題 汚地に咲く花は美しいか 文法性の保守と詩的装飾のジレンマ 3. 雑誌名	5.発行年 2016年
2.論文標題 汚地に咲く花は美しいか 文法性の保守と詩的装飾のジレンマ	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁
2. 論文標題 汚地に咲く花は美しいか 文法性の保守と詩的装飾のジレンマ 3. 雑誌名	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁
2 . 論文標題 汚地に咲く花は美しいか 文法性の保守と詩的装飾のジレンマ 3 . 雑誌名 哲学	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 29-42
2. 論文標題     汚地に咲く花は美しいか 文法性の保守と詩的装飾のジレンマ     3. 雑誌名     哲学  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 29-42 査読の有無
2 . 論文標題 汚地に咲く花は美しいか 文法性の保守と詩的装飾のジレンマ 3 . 雑誌名 哲学	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 29-42
2. 論文標題     汚地に咲く花は美しいか 文法性の保守と詩的装飾のジレンマ     3. 雑誌名     哲学  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 29-42 査読の有無
2. 論文標題         汚地に咲く花は美しいか 文法性の保守と詩的装飾のジレンマ         3. 雑誌名         哲学         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)         なし	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 29-42 査読の有無 有
2 . 論文標題     汚地に咲く花は美しいか 文法性の保守と詩的装飾のジレンマ      3 . 雑誌名     哲学  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)     なし  オープンアクセス	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 29-42 査読の有無
2. 論文標題         汚地に咲く花は美しいか 文法性の保守と詩的装飾のジレンマ         3. 雑誌名         哲学         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)         なし	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 29-42 査読の有無 有
2 . 論文標題 汚地に咲く花は美しいか 文法性の保守と詩的装飾のジレンマ  3 . 雑誌名 哲学  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 29-42 査読の有無 有 国際共著
2 . 論文標題     汚地に咲く花は美しいか 文法性の保守と詩的装飾のジレンマ      3 . 雑誌名     哲学  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)     なし  オープンアクセス	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 29-42 査読の有無 有
2. 論文標題         汚地に咲く花は美しいか 文法性の保守と詩的装飾のジレンマ         3. 雑誌名         哲学         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)         なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1. 著者名	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 29-42 査読の有無 有 国際共著
2 . 論文標題 汚地に咲く花は美しいか 文法性の保守と詩的装飾のジレンマ  3 . 雑誌名 哲学  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 29-42 査読の有無 有 国際共著
2. 論文標題         汚地に咲く花は美しいか 文法性の保守と詩的装飾のジレンマ         3. 雑誌名         哲学         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)         なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1. 著者名         松村耕光	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 29-42 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 第43号
2 . 論文標題     汚地に咲く花は美しいか 文法性の保守と詩的装飾のジレンマ      3 . 雑誌名     哲学  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)     なし  オープンアクセス     オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名     松村耕光  2 . 論文標題	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 29-42 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 第43号
2. 論文標題         汚地に咲く花は美しいか       文法性の保守と詩的装飾のジレンマ         3. 雑誌名       哲学         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)       なし         オープンアクセス       オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1. 著者名       松村耕光	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 29-42 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 第43号
2 . 論文標題     汚地に咲く花は美しいか 文法性の保守と詩的装飾のジレンマ      3 . 雑誌名     哲学  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)     なし  オープンアクセス     オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名     松村耕光  2 . 論文標題	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 29-42 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 第43号
2. 論文標題         汚地に咲く花は美しいか       文法性の保守と詩的装飾のジレンマ         3. 雑誌名       哲学         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし       オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1. 著者名 松村耕光         2. 論文標題 カンバルポーシュの旅行記について	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 29-42 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 第43号
2. 論文標題         汚地に咲く花は美しいか       文法性の保守と詩的装飾のジレンマ         3. 雑誌名         哲学         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1. 著者名松村耕光         2. 論文標題カンバルポーシュの旅行記について         3. 雑誌名	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 29-42 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 第43号 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
2. 論文標題         汚地に咲く花は美しいか       文法性の保守と詩的装飾のジレンマ         3. 雑誌名       哲学         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし       オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1. 著者名 松村耕光         2. 論文標題カンバルポーシュの旅行記について	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 29-42 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 第43号
2. 論文標題         汚地に咲く花は美しいか 文法性の保守と詩的装飾のジレンマ         3. 雑誌名         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)         なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1. 著者名         松村耕光         2. 論文標題         カンバルポーシュの旅行記について         3. 雑誌名	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 29-42 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 第43号 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
2. 論文標題         汚地に咲く花は美しいか       文法性の保守と詩的装飾のジレンマ         3. 雑誌名       哲学         掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし       オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難       1. 著者名 松村耕光         2. 論文標題カンパルポーシュの旅行記について       3. 雑誌名言語文化研究	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 29-42 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 第43号 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 157-172
2. 論文標題         汚地に咲く花は美しいか       文法性の保守と詩的装飾のジレンマ         3. 雑誌名         哲学         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1. 著者名松村耕光         2. 論文標題カンバルポーシュの旅行記について         3. 雑誌名	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 29-42 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 第43号 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
2. 論文標題     汚地に咲く花は美しいか 文法性の保守と詩的装飾のジレンマ      3. 雑誌名     哲学      掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)     なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難      1. 著者名     松村耕光      2. 論文標題     カンパルポーシュの旅行記について      3. 雑誌名     言語文化研究  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 29-42 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 第43号 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 157-172
2. 論文標題 汚地に咲く花は美しいか 文法性の保守と詩的装飾のジレンマ         3. 雑誌名 哲学         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1. 著者名 松村耕光         2. 論文標題 カンパルポーシュの旅行記について         3. 雑誌名 言語文化研究	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 29-42 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 第43号 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 157-172
2 . 論文標題 汚地に咲く花は美しいか 文法性の保守と詩的装飾のジレンマ      3 . 雑誌名 哲学  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難      1 . 著者名 松村耕光      2 . 論文標題 カンバルポーシュの旅行記について      3 . 雑誌名 言語文化研究  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  おから は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 29-42 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 第43号 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 157-172
2. 論文標題         汚地に咲く花は美しいか 文法性の保守と詩的装飾のジレンマ         3. 雑誌名哲学         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1. 著者名松村耕光         2. 論文標題カンバルボーシュの旅行記について         3. 雑誌名言語文化研究         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし         オープンアクセス	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 29-42 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 第43号 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 157-172
2 . 論文標題     汚地に咲く花は美しいか 文法性の保守と詩的装飾のジレンマ      3 . 雑誌名     哲学  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)     なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 松村耕光  2 . 論文標題 カンバルポーシュの旅行記について  3 . 雑誌名 言語文化研究  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 29-42 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 第43号 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 157-172

1.著者名	4 . 巻
Okita, Kiyokazu	25-1
2.論文標題	5 . 発行年
A Vedantic Refutation of Buddhism in Eighteen Centry North India: The Tattvadipika of Baladeva	2016年
Vi dyabhushana	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Vaishnava Studies	153-162
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1.著者名	4 . 巻
Okita, Kiyokazu	65-3
2.論文標題	5.発行年
From Rasa to Bhaktirasa: The Development of A Devotional Aesthetic Theory in Early Modern South	2017年
Asia	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
The Journal of Indian and Buddhist Studies	1066-1072
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

〔学会発表〕 計21件(うち招待講演 5件/うち国際学会 12件)

1.発表者名 水野善文

2 . 発表標題

説話と説話集 Simhasanadvatrimshika (or Vikrama-carita)をめぐって

3 . 学会等名

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 プロジェクト「近世南アジアの文化と社会:文学・宗教テクストの通言語的比較分析」 (代表:太田信宏)

4 . 発表年 2019年

1.発表者名 坂田貞二

2 . 発表標題

Some Japanese Folktales have been formed accepting Indian Folktales, but some may have been formed independently

3 . 学会等名

International Conference on Cultural Exchanges through Narratives (国際学会)

4 . 発表年 2019年

. With 6
1.発表者名 
置田清和 
2.発表標題
Rejecting Absolute Monism: The Commentaries of Madhva and Vijayadhvaja on Bhagavatapurana 1.1.1.
2
3.学会等名 The 17th World Sanskrit Conference, University of British Columbia(国際学会)
The 17th World Sanskrit Conference, University of British Columbia (国際学会)
4.発表年
- 2018年
, <del></del> 1
1.発表者名
手嶋英貴
2.発表標題
『カターサリト・サーガラ』に見られるラーマ物語の歴史的位置
3.学会等名
インド思想史学会学術大会
4.発表年
2018年
1.発表者名
山畑倫志
2.発表標題
2 . সংবংশক্তি Connection of Old Gujarati Literature with Jain Carita — Capturing Krishna tales and its effect
Commodition of the object Effortation with bein centre objecting Kiloline teles and its effect
3 . 学会等名
The 17th World Sanskrit Conference, University of British Columbia (国際学会)
4 . 発表年
2018年
1.発表者名
宮本久義
2 . 発表標題
プラーナ聖典におけるシャイヴァ・バクティ
2
3.学会等名 第2回PUNDOTT 第4.5 1.5 4.5 2.5 2.5 2.5 2.5 2.5 2.5 2.5 2.5 2.5 2
度第2回RINDAS研究会「バクティ観念の中世的展開に関する研究会」
4. 完衣牛 2018年
2010 <del>T</del>

1. 発表者名
田中多佳子
Metre and Rhythm in Hindu Devotional Songs
3.学会等名
Seminar on "The Dialects and Literature of Hindi" Organized by Hiroko Nagasaki (Osaka University)
4.発表年
2018年
1.発表者名
長崎広子
The Rhythm of Early Hindi Poetry as Reflected in the Pingala Literature
13th International Conference on Early Modern Literatures in North India(国際学会)
The first term to the control of the
4 . 発表年
2018年
1.発表者名
水野善文
2.発表標題
定説の裏側 文献を読み解く醍醐味
3 . 子云寺石     大谷大学仏教学会公開講演会(招待講演)
ハロハナ心みナムム  開保ス(1017時保)
4 · 元农中
2011
1.発表者名
Niwa, Kyoko
nina, nyono
2 . 発表標題
Rabindranath's Short Poems with the reference to Japanese Haiku"
· ·
3.学会等名
Asiatic Society, Kolkata, India(招待講演)(国際学会)
4. 発表年
2017年

1.発表者名
Niwa, Kyoko
2.発表標題
Rabindranather racanar japani anubad samparke
2010
3.学会等名
Surendranath College for Women, Kolkata, India(国際学会)
outendranath correge for moment, nothata, filtra (国际于云)
4.発表年
2017年
1.発表者名
Ishida, Hideaki
2.発表標題
Hindi Dalit Sahitya ka Ek Udaharan Umrav Singh Jatav ko Lekar
and saint saintya ka Ek saakatan
3 . 学会等名
Asia men Hindi: East Asian Perspectives on Hindi Studies 北京大学(国際学会)
· Water
4.発表年
2017年
1.発表者名
Sakata, Teiji
2.発表標題
Braj Culture and Surdas
Dray current and curvas
2 244
3.学会等名
The Council for the Indian Languages at Kolkata(招待講演)
4 . 発表年
2017年
1.発表者名
田森雅一
2.発表標題
ダーディー・ミーラースィーの口頭伝承と社会組織 インド北西部ラージャスターンのムスリム楽士カーストの民族誌に向けて
0. WAMP
3.学会等名
日本文化人類学会・第51回研究大会
4.発表年
2017年

1.発表者名
1,元权日口
Yokochi, Yuko
2.発表標題
The Kapphinabhyudaya and the Shishupalavadha,
3.学会等名
The International Workshop on pre-modern Kashmir 2018 (国際学会)
. The day has
4.発表年
2018年
1.発表者名
Niwa, Kyoko
2.発表標題
On Japan Yatri
2 246
3 . 学会等名
International Conference on Tagore and Japan(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2016年
1.発表者名
Isaka, Riho
rodice, with
2.発表標題
'The Indian book publishing industry in transition: strategies of regional language publishers in the age of globalization
the filtral book publishing filtustry in transferon. Strategies of regional ranguage publishers in the age of grobalization
3.学会等名
3.学会等名 AAS-in-ASIA(国際学会)
AAS-in-ASIA(国際学会)
AAS-in-ASIA(国際学会) 4.発表年
AAS-in-ASIA(国際学会)
AAS-in-ASIA(国際学会) 4.発表年
AAS-in-ASIA(国際学会) 4.発表年 2016年
AAS-in-ASIA (国際学会) 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名
AAS-in-ASIA(国際学会) 4.発表年 2016年
AAS-in-ASIA (国際学会) 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名
AAS-in-ASIA (国際学会) 4 . 発表年 2016年 1 . 発表者名
AAS-in-ASIA(国際学会)  4. 発表年 2016年  1. 発表者名 Okita, Kiyokazu
AAS-in-ASIA (国際学会)  4. 発表年 2016年  1. 発表者名 Okita, Kiyokazu  2. 発表標題
AAS-in-ASIA(国際学会)  4. 発表年 2016年  1. 発表者名 Okita, Kiyokazu
AAS-in-ASIA (国際学会)  4. 発表年 2016年  1. 発表者名 Okita, Kiyokazu  2. 発表標題
AAS-in-ASIA (国際学会)  4. 発表年 2016年  1. 発表者名 Okita, Kiyokazu  2. 発表標題
AAS-in-ASIA(国際学会)  4 . 発表年 2016年  1 . 発表者名 Okita, Kiyokazu  2 . 発表標題 Singing in Protest: Early Modern Hindu-Muslim Encounters in Bengali Hagiographies of Caitanya
AAS-in-ASIA (国際学会)  4. 発表年 2016年  1. 発表者名 Okita, Kiyokazu  2. 発表標題 Singing in Protest: Early Modern Hindu-Muslim Encounters in Bengali Hagiographies of Caitanya  3. 学会等名
AAS-in-ASIA(国際学会)  4 . 発表年 2016年  1 . 発表者名 Okita, Kiyokazu  2 . 発表標題 Singing in Protest: Early Modern Hindu-Muslim Encounters in Bengali Hagiographies of Caitanya
4. 発表年 2016年  1. 発表者名 Okita, Kiyokazu  2. 発表標題 Singing in Protest: Early Modern Hindu-Muslim Encounters in Bengali Hagiographies of Caitanya  3. 学会等名 Exploring Bhakti: Is Bhakti a Language of Power or of Protest?(国際学会)
AAS-in-ASIA (国際学会)  4. 発表年 2016年  1. 発表者名 Okita, Kiyokazu  2. 発表標題 Singing in Protest: Early Modern Hindu-Muslim Encounters in Bengali Hagiographies of Caitanya  3. 学会等名
4.発表年 2016年  1.発表者名 Okita, Kiyokazu  2.発表標題 Singing in Protest: Early Modern Hindu-Muslim Encounters in Bengali Hagiographies of Caitanya  3.学会等名 Exploring Bhakti: Is Bhakti a Language of Power or of Protest?(国際学会)  4.発表年
4. 発表年 2016年  1. 発表者名 Okita, Kiyokazu  2. 発表標題 Singing in Protest: Early Modern Hindu-Muslim Encounters in Bengali Hagiographies of Caitanya  3. 学会等名 Exploring Bhakti: Is Bhakti a Language of Power or of Protest?(国際学会)

1.発表者名			
Okita, Kiyokazu			
2.発表標題			
The Number of Bhaktirasa-s: Jiva Gosvami's Pritisandarbha on BHagavatapurana 10.43.17			
3 . 学会等名			
The Bhagavata Puran: Its Histories, Philosophies, and Cultures(国際学会)			
│ 4.発表年			
2017年			
1.発表者名			
山畑倫志			
2.発表標題			
聖者伝に拠らない初期ラーソー文献について			
3.学会等名 日本印度学仏教学会第67回学術大会			
ᆸᅲᄱᇩᆍᇈᄯᆉᇫᅔᄱᄱᆣᄳᆁᄉᇫ ᆸ			
4.発表年			
2016年			
〔図書〕 計6件 「1.著者名	4.発行年		
坂田貞二ほか	2019年		
2.出版社	5. 総ページ数		
東京外国語大学	252		
3 . 書名			
南アジア多言語社会における複合文化のなかの文学伝承(科研中間報告書)			
	1 2V./- (-		
「1.著者名」 「石田英明」	4 . 発行年 2017年		
1	20174		
ጋ	5.総ページ数		
2.出版社 大同生命国際文化基金	5. 総ペーン数 263		
ハロナドログへロサル			
2 74			
3 . 書名 (翻訳) ウダイ・プラカーシ『黄色い日傘の娘』			
(断が))ソフユ・ノフルーン「奥巴Nロ卒の城』 			

	T
1.著者名	4.発行年
kawamura, Yuto	2018年
2 11454	L WY ** > ***
2. 出版社 B.K. Bailatura I.d.	5.総ページ数
D.K.Printworld	196
3 . 書名	
」 3.音句 The Karaka Theory Embodied in the Rama Story: A Sanskrit Textbook in Medieval India	
THE NATANA THEOTY EMBOUTED IN THE NAME STOLY. A SAMSKITT TEXTBOOK III MEDIEVAL INDIA	
<u> </u>	_
1. 著者名	4.発行年
丹羽京子	2016年
2.出版社	5.総ページ数
(翻訳書) R. タゴール『日本旅行者』	222
つ 事々	<u> </u>
3 . 書名	
本郷書森	
1 . 著者名	4.発行年
川村悠人	2017年
	- 10 - 200
2. 出版社	5.総ページ数
法蔵館	438
3 . 書名	
3.盲句   バッティの美文詩研究 - サンスクリット宮廷文学とパーニニ文法学 -	
ハファエッ夫人的W/ルニックハフッフエロた人士C/ハ ——太/A士 - 	
	T
1 . 著者名	4.発行年
臼田雅之ほか	2020年
	5.総ページ数
2.山城社   東京外国語大学	3. 総ペーン数   322
本亦介閏 <b>四八</b> 子	522
3.書名	
う・音 1   南アジア多言語社会における複合文化のなかの文学伝承(科研報告書)	
The state of the s	
	_

# 〔産業財産権〕

〔その他〕

\_

## 6 . 研究組織

. 0	. 饼光組織		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	藤井 守男 (Fujii Morio)	東京外国語大学・その他部局等・名誉教授	
	(90143619)	(12603)	
研究分担者	萩田 博 (Hagita Hiroshi)	東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・准教授	
	(80143618)	(12603)	
研究分担者	丹羽 京子 (Niwa Kyoko)	東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・准教授	
	(90624114)	(12603)	
研究分担者	太田 信宏 (Oota Nobuhiro)	東京外国語大学・アジア・アフリカ言語文化研究所・准教授	
	(40345319)	(12603)	